

# 事務事業点検・評価報告書

## (平成28年度事業分)

相生市教育委員会

## — 目 次 —

1	はじめに	1
2	事務事業評価について	2
3	平成28年度 教育委員会事務事業評価結果一覧	8
4	第三者評価対象事業	15

## 1 はじめに

### (1) 点検・評価について

教育委員会における事務事業の点検・評価については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

このため、相生市教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、平成28年度における本市の教育に関する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い報告書としてまとめました。

### (2) 実施方法について

事務事業の点検・評価の方法は、相生市が毎年実施している行政評価システム（市長部局で実施している市全体の事務事業を対象とした評価システム）を活用しています。

### (3) 点検・評価の方法

点検・評価を行う事務事業については、教育委員会が実施いたしました全ての事務事業について検証を行います。

その方法は、事後評価とし、各事業に対する住民等のニーズからその事業実施後の結果・成果を総合評価したうえで、更にその事業の今後の方向性の評価を行います。

結果については、数値化し、今後の方向性については、具体的な方針を示しております。

### (4) 第三者評価について

相生市行政評価システムにおいて、その評価の客観性及び信頼性を一層高めるため、教育に関し学識経験を有する者を含む外部委員による専門的な観点からの意見及びサービスの受け手としての市民からの意見等を提言することを目的に実施しております。

なお、全ての事業に対し評価するのではなく、外部評価委員会より指定された事業について、評価するものとしております。

このため、教育委員会の事務事業についても、第三者評価の対象として指定されております。

## 2 事務事業評価について

### (1) 事業の類型

- ・事業の性質に応じた評価を行なうため、9種類に分類して評価を行います。

事業の類型		定義
①	法定受託事務	自治事務以外の国や他の地方公共団体から委託されて代行して行う事務
②	ソフト事業（義務）	法令等により実施が義務付けられた事業
③	施設維持管理（補修）事業	ソフト事業を実施しない施設や道路、公園等の維持管理（補修）事業
④	内部管理事務	直接的な市民サービスの提供を伴わない内部的、定型的な業務
⑤	ソフト事業（任意）	市が自主的に実施する市民サービス事業（施設管理運営事業を含む）
⑥	補助金・負担金事業（ソフト事業）	補助金・負担金交付の形態で実施する市民サービス事業（施設等整備事業に分類される事業を除く）
⑦	施設等整備事業	市民利用施設の建築、道路や公園等の整備事業、情報システムの構築事業
⑧	施設等整備事業（補助金・負担金）	補助金・負担金交付の形態で実施する⑥の施設等整備事業
⑨	実績把握のみの事業	予算事業が一般事務経費等の直接的な事業が伴わないもの（事業費及び人件費の実績値のみを把握する）

### (2) 評価項目

- ・事後評価として、各事業の課題をより明確化するために、住民等のニーズから事業実施及びその結果・成果までの行政活動の一連の流れを「妥当性」「有効性」「効率性」の3つの視点に細分化して、各項目を5～1の5段階で評価します。

評価項目		評価の具体的な内容
事後評価	妥当性	「目的の妥当性」「市民ニーズ」「市の関与の妥当性」「公共性」「緊急性・優先性」の観点から 5～1 の 5 段階評価
	有効性	「成果目標（改善）達成度」「期待する目標」「成果の向上」「上位施策への貢献度」「市民サービス」「組織運営・適正管理」「関係（根拠）法令等から見た効果」の観点から 5～1 の 5 段階評価
	効率性	「コストの節減」「負担割合の適正化」「手段の最適性」「執行体制の効率性」の観点から 5～1 の 5 段階評価
進捗状況		各年度における事業の進捗度合いを全体の中から 5～1 の 5 段階により判断する 5：目標を超える進捗が見られる 4：目標通り事業が進んでいる 3：目標には達しないが問題なく進捗している 2：事業の一部に滞りがある 1：計画の見直しが必要 の 5 段階評価

### ○妥当性とは

社会経済情勢や市民意識の変化にあわせ、行政関与の考え方は大きく変化していますので、市が行う必要性（例えば、国や県の仕事、民間で実施、地域・家庭・個人がその役割を担うべき等）、時代の変化等の視点で点検し評価します。

### ○有効性とは

費用対効果の視点で事務事業の在り方、手法を検証します。事業の目的、その事業の意図する目標・成果を明確にし、事業成果の指標を設定・測定します。

### ○効率性とは

事業の活動結果に対して事業費、人件費で単位コスト、受益者負担等を算出し、各事業の効率を評価することにより、より効率的な行政運営をするためのものです。

### (3) 評価指標

評価に関しては、指標を設定することで、定性的でわかりづらい行政の活動や仕事の成果、達成度などを把握できます。

評価表で設定する指標には、「有効性を測る指標」と「効率性を測る指標」があります。

区分	指標の名称	内容
有効性を測る指標	成果目標（改善）指標	行政サービスの成果を数値で表したもの
効率性を測る指標	単位コスト	事業の実施結果（利用者、参加者等）や活動結果（開催日数、回数等）に要する1単位当たりコスト

### (4) 評価における判断基準（5段階）

区分	妥当性	有効性	効率性
5 極めて高い	上位の事務事業や施策の成果向上に不可欠な事業であり、妥当性を見直す余地がない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値は、到達目標に近い、高いレベルのもので、しかも達成できた。</li> <li>・実績値が前年度と比較して大きな伸びが見られた。</li> <li>・その他の観点において改革改善効果が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・極めて大きなコスト節減効果が見られた。</li> <li>・その他の観点において改革改善効果が見られた。</li> </ul>
4 高い	上位の事務事業や施策の成果向上に必要な事業であり、妥当性を見直す余地が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の達成ができた。</li> <li>・実績値が前年度と比較して伸びた。</li> <li>・その他の観点において改革改善効果が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト節減効果が見られた。</li> <li>・その他の観点において改革改善効果が見られた。</li> </ul>
3 変化なし	現時点では実施の必要性等妥当性に変化はない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の達成はできなかったが、実績値は前年並みを維持できた。</li> <li>・目標値の達成ができ、実績値も</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストは前年度と変化がなかった。</li> <li>・その他の観点における</li> </ul>

		<p>前年並みを維持できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他の観点における変化は特に見られなかつた。</li> </ul>	<p>る変化は特に見られなかつた。</p>
2 低い	事業の目的の変化や実施の必要性が低下しており、将来的に廃止・統合に向けた検討が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値の達成はできなかつた。</li> <li>・実績値が前年度と比較して低下した。</li> <li>・その他の観点において低下した事項があつた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストは増加した。</li> <li>・その他の観点において低下した事項があつた。</li> </ul>
1 かなり低い	事業の廃止・統合に向けた見直しが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値をかなり下回つた。</li> <li>・実績値が前年度と比較してかなり低下した。</li> <li>・その他の観点においてかなり低下した事項があつた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コストは大幅に増加した。</li> <li>・その他の観点においてかなり低下した事項があつた。</li> </ul>

### (5) 方向性評価

評価項目		評価の具体的な内容
方向性評価	方向	繼続：29年度以降も引き続き実施 廃止：28年度で廃止 廃止予定：29年度以降で廃止が予定 完了：28年度で完了 完了予定：29、30、31年度で完了予定 統合：見直しにより29年度に他事業に統合
	成果	上記「方向」を「継続」とした事業について 29年度以降の成果を「拡大」「維持」「縮小」の区分で評価
	総コスト	上記「方向」を「継続」とした事業について 29年度以降の総コストを「拡大」「維持」「縮小」の区分で評価

	<p style="text-align: center;">優先度</p> <p style="text-align: center;">上記「方向」を「継続」とした事業の貢献度や、必要性について 5：極めて高い 4：高い 3：普通 2：低い 1：かなり低い の5段階評価</p>	
--	---	--

## (6) 第三者評価

### ア 評価対象

ヒアリングの対象は、次の基準により選出した下記の9事業を対象といたしました。

- ◎「相生市もっと活力上昇計画」の効果検証として、国の交付金を活用した事業を含む地域創生関連事業（3事業）
- ◎事業開始後3年程度経過し、効果の検証が必要な事業（6事業）

教育委員会としては、下記の事業が第三者評価の対象となりました。

### 平成29年度第三者評価対象事業

事務事業名	課名
創意ある学校園づくり推進事業	学校教育課
資料館管理事業	生涯学習課

### イ 評価視点

下記の具体的視点により評価を行いました。

#### (ア) 成果の視点

- ・評価指標の設定は妥当か、関連性があるか。
- ・指標設定が困難な場合において最適なものを代替指標としているか。

#### (イ) 妥当性の視点

- ・市及び教育委員会が実施する目的は明確か、国・県や民間等との役割分担の観点から当該事務事業を市が行う妥当性・必要性はあるか。
- ・市民ニーズは、高いか。

(ウ) 有効性の視点

- ・評価指標の数値は計画値を達成しているか。
- ・計画・目標設定が高すぎないか、あるいは低すぎないか。
- ・成果を向上させる努力をしているか、向上させる方法はあるか。
- ・市民サービス向上の改革改善効果が見られるか。

(エ) 効率性の視点

- ・コストを削減する努力をしているか、削減する余地はあるか。
- ・受益者負担の設定は可能か、見直しする余地はあるか。
- ・委託や指定管理者制度の導入、補助事業化など、サービスを下げずに、よりコストの低い手段へ事業形式を変更できる可能性はあるか。
- ・当該事務事業が個別目標・施策実現のための手段として最適か。

(オ) 総合、方向性の視点

- ・過去の行政評価結果が生かされて、P D C A サイクルが機能しているか。
- ・課題・懸案事項に対する今後の展開方針は妥当か。
- ・今後に向けての成果向上や経費削減など、具体的方策は妥当か。

(カ) 地方創生の視点

- ・目標数値は妥当か
- ・目標達成のための手段が適切に講じられているか。またその見込みがあるか。
- ・地方創生への効果が期待できるか。

### 3 平成28年度 教育委員会事業評価結果一覧

健やかな成長と人間力をのばせるまち

取り組み事項	担当課名	事業事業名	事業内容	23年度				事後評価 調査 実施 状況	課題	改善内容	事業 類型	方向性	コスト 優先度		
				入件費	事業費	支出合計	妥当性 効率性 有効性								
多様な保育サービスの充実を図る	生涯学習課	放課後児童保育事業	放課後、家庭において、保育に欠ける男童を、保護者が帰宅する時間帯まで預かる。	39,740,262	3,079,834	42,820,096	5	5	4	学級によつては指導員不足のところもあり、指導員及び指導補助員の適切な配置が必要である。	入級児童数による指導員、指導補助員の適切な配置。	4	継続	拡大	拡大
学校給食の充実と食育の推進を図る	学校教育課	学校給食運営事業	幼稚園から栄養バランスのとれた学校給食を無料で提供する。	105,410,867	128,259,995	233,670,862	4	4	3	メニューの標準化に最適で、簡単な操作で効率よく作業ができるソフトの選定	相手市の給食管理に正直な食数及び食料の管理に加え、増加するためのアレルギー対応を検査する。給食管理ソフトの早期導入。	4	継続	拡大	維持
家庭・地域・学校の連携を深める	生涯学習課	学校支援地域本部事業	学校支援ボランティアの活動により、学校教育を支援する。	2,394,866	234,900	2,629,766	4	3	4	登録ボランティアの確保。	ボランティアに地域住民が入ることにより、地域の教育力を活性化することができる。	5	継続	維持	維持
教育管理課	小学校特別支援教育事業	市立小学校の特別支援学級等に在籍する児童の家庭の経済状況に応じて、学用品費などの支援を行う。	1,056,716	344,086	1,400,802	—	5	4	4	普通学級の補助対象者について、学校及び学級教員と連携し情報の把握に努めてい有必要がある。	学校、他課と連携し、制度の周知等、必要な情報を遠くから各学校に伝達する。	1	継続	維持	維持
	中学校特別支援教育事業	市立中学校の特別支援学級等に在籍する生徒の家庭の経済状況に応じて、学用品費などの支援を行う。	1,056,716	229,145	1,285,861	—	5	4	4	普通学級の補助対象者について、学校及び学級教員と連携し情報の把握に努めてい有必要がある。	学校、他課と連携し、制度の周知等、必要な情報を遠くから各学校に伝達する。	1	継続	維持	維持
指定教育等研究研修事業	小学校・中学校・高等学校の研究修業費	小中学校児童・生徒の教育指導及び教師の研修による資質向上を図り、適正な学校運営を推進する。	1,404,470	5,545,709	6,950,179	4	3	3	4	計画的に見直しを行い、有効な事業を行ふ。	教職員の資質向上につながる研修を精査し、ニーズに合った研修を進めめる。	4	継続	維持	維持
	小学校一般事務経費	読書感想文、科学研究記録の審査表彰、運動会、オーブンスクールの実施に伴う消耗品の購入、コンピューター、インターネット維持管理経費	20,569,110	29,110,210	49,679,320	—	4	4	4	市立図書館等の関係機関との連携体制の強化を要する。	市立図書館等の関係機関との連携化事業性進協議会との連絡会議を開催する。	3	継続	維持	維持
学校教育課	中学校一般事務経費	読書感想文、科学研究記録の審査表彰、運動会、オーブンスクールの実施に伴う消耗品の購入、コンピューター、インターネット維持管理経費	4,419,944	16,386,347	20,806,291	—	3	4	4	市立図書館等の関係機関との連携体制の強化を要する。	市立図書館司書と学校図書館活性化事業性進協議会との連絡会議を開催する。	3	継続	維持	維持
	中学校外国人英語指導助教事業	中学校での実践的な英語学習を推進し、生徒の英語力向上を図る。	2,652,926	4,594,366	7,247,292	4	4	4	4	外国人英語指導助教手による英語活動の機会を増やし、生徒の英語力の向上を図る。	外国人英語指導助教手による英語活動の機会を有効に行うなど、効率的な活用を図る。	4	継続	維持	維持
豊かな学力の定着を図る	全国レベルの標準学力検査(小学校4、5年国語・算数、中学校2年国語・数学・英語)を実施し、児童・生徒の学力の状況を把握・分析しながら、各中学校での学力向上の取組みを推進する。	2,237,962	959,040	3,197,002	4	4	4	4	児童・生徒の状況に応じた学力向上を図る。	実施学年ごとの課題をどうぞ、より有効な学力向上の取組を推進する。	4	継続	維持	維持	
	英語教育推進事業	英語教育の専門家の監修やアドバイスを受けながら、幼稚園から中学校卒業までの12年間を通じた体系的な取り組みを推進する。	348,426	0	348,426	4	3	4	4	FITと学校園との連携体制の強化が求められる。	教職員に対する英語コミュニケーション研修を充実させる。	4	継続	維持	維持
豊かな心の育成を図る	学校教育課	ふれあいものづくり事業	各小学校6年生が総合的な学習や理科等の授業時間に相手受けながら、ものづくりに挑む。	2,338,810	100,000	2,438,810	3	3	4	ものづくりを通して生かして、こここ豊かな人間形成を図る。	協働してのものづくりについて、より効果的な取り組みを行う。	4	継続	維持	維持

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	28年度			課題			改善内容	事業類型	方向性	コスト	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	効率性	進捗状況					
学校教育課	小学校体験活動事業	児童が人や自然、地域社会と触れあうことで考える問題解決の力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。	児童が人や自然、地域社会と触れあうことで考える問題解決の力、生命への思いやりの心を育み、生きる力を育成する。	1,545,886	6,620,000	8,165,886	4	4	4	効率的な事業計画・予算執行に努める。	各校の状況に応じた予算配分を行う。	継続	維持	3
学校教育課	心豊かな体験活動推進事業	心肺蘇生法実践研修、トライアングルワーク事業による社会体験実施により、自分を育め、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、生きる力を育む。	心肺蘇生法実践研修、トライアングルワーク事業による社会体験実施により、自分を育め、他人を思いやる心情を育てるとともに、自律性を高め、生きる力を育む。	1,525,030	1,694,550	3,219,580	4	3	4	生徒への指導及び保護者、地域への啓発活動。	多様な職種の受け入れ事業所の確保。	継続	維持	3
学校教育課	適応教室事業	小・中学校の不登校児童・生徒に学習の援助をしながら、学校復帰へ導く。	本市に居住もしくは在学する中学生以下の児童生徒について、スポーツ・文化芸術等における才能ある各種大会等において成績が顕著な者を顕彰する。	2,656,866	2,092,102	4,750,968	4	4	4	どこかへの対応は緊急を要し、より遅延で切なる相談支援の実施が必要である。	緊急措置の次のステップに進むため、より多くの学校復帰を目指す。	継続	維持	3
学校教育課	相生つっ子かがやき頸影事業	創意ある学校園づくり推進事業	教職員が知恵を結び一休として、地域の特色を生かした教育活動を展開し、子どもたちの豊かな成長を図り、自立的な学校組織の取組を行つ。	1,162,206	10,800	1,173,006	3	3	4	表彰対象となる個人又は団体について、各学校長へ表彰実績について、各学校園でもうかるよう周知する。	表彰対象者の確実な推薦について、各学校長へ依頼する。	継続	維持	3
学校教育課	クラブ活動運営事業	生徒の健康増進を目的としてペーロン祭に西中横笛部、ハーモニカ部を招致し、協賛事業として実施する。	放課後クラブ活動をとおし、体力の増進、協調性、想像力の高揚を図ることを目的として日々鍛錬する。	1,478,676	2,349,148	3,827,824	—	4	4	専門知識を持つた指導者が不足している。	専門知識を持つた指導者の確保に努める。	継続	維持	3
学校教育課	学校教育ペーロン祭協賛事業	小学生では、校内マラソン大会やなどひ検定及び泳力検定定評により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。	小学生では、校内マラソン大会やなどひ検定及び泳力検定定評により、中学校では、運動部活動や体育大会への参加等により、児童生徒の健康及び体力づくりを推進する。	1,464,750	725,900	2,190,650	3	3	4	大会規模に対して運営するスタッフの減少が今後も見込まれる。	大会の様式及び縮小を視野に入れた検討を行う。	継続	縮小	2
学校教育課	学校体育振興事業	児童・生徒等健康管理委託事業	児童、生徒の健康管理のため学校医、学校歯科医及び学校薬剤師を委嘱する。	982,510	4,818,443	5,800,953	4	3	3	民間のバスを借り上げる際の、利用行程や利用時間の精査し、算削料の縮減を図る。	民間のバスを借り上げる際の、利用行程や利用時間の精査し、算削料の縮減を図る。	継続	縮小	3
学校教育課	学校医等委嘱事業	児童・生徒等健康管理委託事業	児童、生徒又は幼児及び職員の健診、環境衛生検査、安全点検その他の保健検査、学生に対する事項について計画を立て、これを実施する。	1,093,786	13,169,477	14,263,263	—	4	4	学校医が担当する学校園教や児童、生徒数に偏りが見られる。	各学校園の規模に応じた学校医等の適正配置に努める。	継続	維持	3
教育管理課	学校健康センター事業	児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害に備え、医療費等の災害共済給付を行う。	児童、生徒又は幼児及び職員の健診診断、環境衛生検査、安全点検その他の保健検査、学生に対する事項について計画を立て、これを実施する。	1,715,715	5,566,459	7,282,174	—	4	3	効果的に児童・生徒・教職員の健康の保持増進を図る。	健康診断等の効率的な実施に努め、学校現場の負担を軽減する。	継続	維持	3
教育管理課	小学校管理事業	小学校施設の管理運営に係る一般経費	児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害に備え、医療費等の災害共済給付を行う。	2,399,090	2,010,695	4,409,785	—	3	4	給付対象となる保護者への制度周知に努める。	学校園との事故情報の共有と、保護者への給付手続きの説明を適切に行う。	継続	維持	3
教育管理課	中学校管理事業	中学校施設の管理運営に係る一般経費	児童等の幼稚園、小・中学校における負傷、疾病などの災害に備え、医療費等の災害共済給付を行う。	3,501,290	27,664,390	31,165,680	5	4	4	簡易な修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点から原木料費が有効的である。	引き続き簡易修繕については、コスト削減や早期危険回避等の観点から原木料費が有効的である。	継続	拡大	4

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	23年度				事後評価		改善内容	事業類型	方向性	成績	コスト	優先度
				人件費	事業費	支出合計	要当性	効率性	進捗状況						
教育施設を整備する	教育管理課	幼稚園管理事業	幼稚園教諭の研修負担金及び幼稚園施設の管理費に係る一般経費	2,958,770	9,228,355	12,187,125	5	4	4	大型備品等について老朽化により修繕頻度が増加しつつある。	修繕に係る予算増額の検討が必要である。	4	継続	維持	3
		小学校施設整備事業	小学校施設の維持管理に要する工事及び維持修繕事業	4,602,742	20,960,023	25,562,770	5	4	5	施設の老朽化等により、緊急的な想定外の修繕が発生するため、工事及び維持修繕費用が高まることがある。	児童の安全を最優先に考え、優先順位を持つて改修を進める。	6	継続	維持	3
		中学校施設整備事業	中学校施設の維持管理に要する工事及び維持修繕事業	3,457,422	17,955,290	21,412,712	5	4	5	施設の老朽化等により改修箇所の増加や修理料金が高まるが、原則的に優先順位を持つて改修を進めている。	生徒の安全を最優先に考え、その上位で優先順位を持ち、改修を進めよう。	6	継続	維持	3
		幼稚園施設の維持管理に要する工事及び維持修繕事業	幼稚園施設の維持管理に要する工事及び維持修繕事業	3,025,034	7,317,846	10,342,880	5	4	4	施設の老朽化が進んでいる施設もあり、老朽化に伴う修繕の必要性が増加している。	園児の安全性を優先に考え、適切な優先順位を持つて改修を進めよう。	6	継続	維持	3
		学校施設整備事業	学校施設の維持管理に要する工事及び修繕事業	408,706	1,963,138	2,371,844	—	4	5	—	—	—	継続	維持	3
		相生市奨学金事業	高等学校等に在籍するものの中でも、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への援助を行う。	1,222,486	980,000	2,202,486	5	5	4	現状の社会情勢等を意識しながら、現状の基準等を判断していく必要がある。	国、県の他の制度について、継続して動向を注視する。	4	継続	維持	3
		小学校要・準要保護児童就学援助事業	生活保護を必要とする世帯、またはそれに準じた世帯の保護者が必要な世帯の児童に対する義務教育を円滑に実施できるよう学用品費などを支援を行う。	1,101,926	2,018,821	3,120,747	—	5	4	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。	引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。	1	継続	維持	3
		中学校要・準要保護生徒就学援助事業	生活保護を必要とする世帯、またはそれに準じた世帯の保護者が必要な世帯の児童に対して、義務教育を円滑に実施できよう学用品費などを支援を行う。	1,101,926	2,532,454	3,634,380	—	5	4	今後も当事業の概要について広く周知し、現状通り継続実施する必要がある。	引き続きリーフレット等を作成し、事業の概要について、広く周知する。	1	継続	維持	3
		小学校通学費補助事業	通学距離が3キロ以上でバスを利用した場合の通学費の全額を補助する。	1,011,506	530,060	1,541,566	5	4	4	公共交通機関のない地区から通学する児童及び通心教室へ通学する児童への対応が必要である。	公共交通機関のない地区へのタクシーシー利用による対応や、適応教室へ通学する児童への対応が必要である。	4	継続	維持	3
		中学校通学費補助關係事業	通学距離が5キロ以上でバスを利用して通学する生徒に定期購入料の全額を補助する。また、自転車通学の生徒について、自転車の購入費の一部を補助する。	860,806	96,578	957,384	5	4	4	適応教室へ通学する生徒への対応。	適応教室へ通学する生徒への助成を実施する。	4	継続	拡大	維持
教育の機会均等を確保する	教育管理課	学校教育課	教育研究所を中心とした指導や生徒指導などの指導力向上を図る研修講座を実施し、優れた資質・能力を持つ教職員の育成に努める。	801,857	3,109,575	3,911,432	4	3	4	職員の負担軽減の観点からも、より効果的な教職員の資質向上を図るため、研修テーマや受講対象教職員を精査する。	教職員の負担軽減の観点からも、より効果的な教職員の資質向上を図るため、代理支援員を配置する。	4	継続	維持	3
		教育管理課	預かり保育事業	市立幼稚園に通園する4、5歳児の希望者に対して、通常保育終了後、16時30分まで、延長して教育活動を行う。	1,162,206	553,858	1,716,064	5	5	4	職員の負担軽減の観点からも、代際や緊急時の迅速な対応ができる。	公立幼稚園の保育料無料化が定着してきており、事業目的からも維持して実施する必要がある。	4	継続	維持
子どもの育成環境の充実を図る	教育管理課	市立幼稚園保育料軽減事業	市立幼稚園に通園する市内に住所を有する園児の保育料を無料とする。	408,706	0	408,706	5	5	4	—	—	4	継続	維持	3

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	28年度			事後評価		改善内容	事業類型	方向性	コスト	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	効率性					
生涯学習課 子どもの育成環境の充実を図る	矢野・若狭野小学校交流事業	矢野小学校と若狭野小学校において、合同授業及び行事を実施し、両校の児童間の交流を図る。	1,734,866	144,504	1,879,370	4	4	3	バス配車計画に記載される移動行程を精査することと、バス賃借料の縮減に繋げる。	4	継続	維持	3
生涯学習課 サービスの充実を整備する	相生市小中一貫教育推進事業	一貫性を持つ教育推進に向けた研究会の開催及び先進地等の相談を実施する。	1,474,034	35,000	1,508,034	4	4	4	幼稚園を含めた連携体制の強化に努める。	4	継続	拡大	4
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	生涯教育企画調整事業	県事業や市及び関係団体等、社会教育事業の企画・調整を行う。	348,426	1,955,120	2,303,546	—	4	5	公民館運営審議会と重複する内容が見られるため統合した。	3	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を整備する	相生つ子学び塾事業	小学校5、6年生の希望者を対象に、基礎学力の定着を図るために、放課後の小学校の空き教室等を活用し、地元の講師が講師になつて、国語の算数、英語の珠算の自学自習のサポートを行う。	5,005,342	4,491,602	9,496,944	4	4	3	学習の評価方法。	4	継続	維持	4
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	公民館管理事業	社会教育施設として管理運営を行う。	5,419,778	19,636,109	25,055,887	—	4	4	同好会等の減少により、使用料が減少している。	3	継続	維持	4
生涯学習課 生涯学習の充実を整備する	公民館活動事業	社会教育施設として様々な事業を開催し、市民の生涯学習を支援する。	9,513,626	14,177,703	23,691,329	4	3	4	主催事業の参加者数増に努める。	4	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	多目的研修センター管理事業	社会教育類似施設として管理運営を行う。	1,392,315	2,068,489	3,460,804	—	4	4	センター利用者に対して、受益者担当額を使用料として徴収する。	3	継続	維持	4
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	多目的研修センター活動事業	社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する。	2,181,466	2,728,470	4,909,936	4	4	4	主催事業の参加者数の増加に努める。	4	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	図書館管理運営事業	図書館への関心を高め、読書の理解を深めるとともに、館内の適切な管理運営を行う。	13,775,796	37,718,666	51,494,462	—	3	4	民間のノウハウの導入により、利用者の利便性が図られていることから貸出冊数の増加を目指す。	3	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	図書館活動事業	図書資料の充実、適正管理による利用者への読書活動啓発を行う。	7,031,971	8,357,245	15,399,216	4	4	4	図体の活動に対する検証を行ふ。	4	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	青少年育成事業	青少年の団体に対し補助金を交付する。	529,266	205,000	734,266	4	4	4	少子化により会員数が減少傾向である。	5	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	教育管理課	教育の拠点施設であるこども学習センターの施設維持管理事業	2,380,390	2,751,726	5,132,116	4	4	4	平成28年度土地の購入に決定に伴い、今後の長期的な施設のあり方、方針を決定する必要がある。	4	継続	維持	3
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	青少年育成事業	げんキッズイングリッシュチャンプを、体験事業として実施する。	4,616,206	3,865,942	8,482,148	4	4	4	委託業者との連携を綿密に図り、効率的な事業再構築の必要性がある。	4	廃止予定	—	—
生涯学習課 生涯学習の充実を図る	放課後子ども教室推進事業	放課後、安心できる学習の場、遊びの場を提供するとともに、地域住民との交流活動の場を提供する。	3,213,222	2,035,914	5,249,136	4	4	4	指導ボランティアの確保。	4	継続	維持	3

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	23年度				事後評価		改善内容		事業類型	方向性	成績	コスト	優先度	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	効率性	進捗状況	課題	課題						
補導活動や相談体制の充実を図る	学校教育課	補導委員活動事業	少年の補導、少年の非行防止、関係機関との連絡調整、青少年や家族の悩みに対する対応等、青少年問題と指導の充実を図る。	951,226	1,511,101	2,462,327	—	3	4	地域住民・自治会等の活動への理解など協力を得られる取り組みを行う。	1	継続	維持	維持	3		
地域ぐるみで健全育成を推進する	学校教育課	青少年問題協議会運営事業	青少年の指導・育成、保護及び矯正に関する事項を調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を行う。	1,514,602	98,900	1,613,502	—	3	4	法律に基づいた青少年の指導、育成等の適正な活動を行う。	1	継続	維持	維持	3		
市民文化活動を振興する	生涯学習課	青少年健全育成活動事業	中学校区青少年健全育成協議会の活動を通じて、環境净化活動や青少年の問題行動の未然防止を地域ぐるみで取り組む。また、青少年や家族の悩みに 対し、適切な助言と指導の充実を図る。	921,086	6,426,429	7,347,515	—	4	4	より効果的な活動体制の整備を要する。	スケールソーシャルワーカーを有効活用し、学校・地域住民・関係機関と連携した取り組みを行う。	1	継続	維持	維持	3	
文化事業を実施する	生涯学習課	芸術文化活動振興事業	書道・音楽活動等文化活動に取り組み、児童生徒及び団体に対し、補助金を交付する。	484,056	0	484,056	2	1	1	補助対象者となる児童・生徒への制度周知を行う。	小・中学校から対象者への周知徹底に努める。	4	継続	維持	維持	3	
文化施設の充実を図る	生涯学習課	芸術文化振興補助金事業	芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。	770,386	1,164,000	1,934,386	4	4	4	高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。	各団体の活動に対して、検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する。	5	継続	維持	維持	3	
文化財の保存と活用を図る	生涯学習課	スポーツ・文化芸術顕彰事業	文化芸術の振興を図るうえで、権威ある大会等において顕著な功績を取めた個人や団体を顕彰する。	378,506	0	378,506	4	4	3	情報把握の効率性、正確性を高めていく必要がある。	各文化団体などとの情報共有に努力する。	4	継続	維持	維持	3	
	生涯学習課	生涯学習課	文化祭・美術展を実施する。	5,061,838	2,622,640	7,684,478	4	4	5	文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるよう文化会館係とも協力していく。	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるよう見直しを行う。	4	継続	拡大	維持	4	
	生涯学習課	生涯学習課	平成23年度で文化会館の建設が完了し、平成28年度によりホール周辺整備事業として相生地区多目的広場整備を行った。	1,132,066	31,257,090	32,389,156	5	4	5	多目的広場の利活用の方法を検証する必要がある。	—	6	完了	—	—	—	
	生涯学習課	生涯学習課	相生市文化会館管理運営事業	23,159,797	71,529,948	94,669,745	5	4	3	館全体の運営に市民への情報発信が必要。	情報発信方法の検証を行う。	4	継続	維持	維持	3	
	生涯学習課	生涯学習課	文化財運営事業	2,508,771	1,389,972	3,898,743	4	4	3	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っているか。	申請ハンドブックや歴史講座、申請手引などの資料事業をとおして、市民に市内に残る文化財の維持管理をどのように行っているか。	4	継続	維持	維持	3	
	生涯学習課	生涯学習課	資料館管理事業	3,545,224	3,670,832	7,216,056	4	4	4	寄贈を受けた貴重な資料や資料館活性化サポート事業で収集することでの資料の有効活用を図る。	引き続き資料館の展示物の入替や特展を実施するなども、歴史講座等の市民参加型の事業を実施する。	4	継続	維持	維持	5	
	生涯学習課	生涯学習課	体育振興課	3,212,419	10,715,913	13,928,337	—	3	3	4	災害時の第一次避難所であることから、オンライン販売時、避難所として機械的安全で利用者にやさしい施設管理に取り組む必要がある。	施設の改修工事を行い、さらなる安心、安全で利用できる安心、安全な施設管理に取り組む必要がある。	2	継続	維持	維持	3

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	23年度				事後評価			改善内容	事業類型	方向性	成果	コスト	優先度	
				人件費	事業費	支出合計	妥当性	効率性	進捗状況								
スポーツ施設の整備を行う	体育振興課	市民プール管理運営事業	市民プールの施設内における遊泳者の監視や利用者の受け対応、水質の維持管理を行っており、利用者が安全かつ快適にプールを利用できるよう努める。	1,554,026	5,974,000	7,528,026	—	3	4	3	中央プールは施設老朽化、人員減少により廃止とした。	株式会社アティックに管理運営業務委託し、運営をやりながら今後も適正管理に努めていく。	2	継続	維持	縮小	3
		市民グラウンド管理運営事業	市民グラウンドの利用者が快適に利用できるよう、施設の整備・充実に努める。	3,299,726	3,516,634	6,816,360	—	3	4	3	施設の充実や今後の適正管理体制について検討が必要である。	使用率を高め、事業費節減に努める。	2	継続	維持	維持	3
		温水プール管理運営事業	指定管理者制度により包括的に委託を行い、民間の能力を活用することことで、利用者へのサービス向上を図る。	2,608,926	25,862,040	28,470,966	—	4	4	4	経年のために、プール施設改修計画による適正管理が必要である。	計画的な施設維持修繕に努め、適正な管理を推進する。	2	継続	維持	維持	3
		スポーツ活動の支援・充実を図る	近隣市町との情報交換や連絡調整を行うほか、スマート推進審議会での答申を得ながら計画的で効率的なスポーツの推進を図る。	2,307,526	91,200	2,398,726	4	4	4	4	平成25年度の制度改正により、受賞資格が明確にされている。	広報紙やホームページを活用し、効果的な制度の周知、PRに努める。	4	継続	維持	維持	3
		スポーツ・文化芸術顕彰事業	各種競技スポーツの推進、スポーツクラブの推進や、国際大会、全国大会参加激励金制度の運用に取り組む。	2,902,186	3,440,500	6,342,686	—	4	3	4	地域スポーツのリーダー確保や育成が重要であることから、委員会を選出する必要がある。	事業実施に必要な人員を把握しつつ、将来も考慮してコスロ削減を図る。	3	継続	維持	維持	3
		スポーツ推進委員事業	幅広い市民団体において市民人権学習を実施する取組みと市内企業・事業所関係者等における研修を推進する。また、市民一般向けに人権意識高揚につながるイベントの開催や啓発資料の発行を行う。	6,376,426	2,674,696	9,051,122	4	4	4	4	幅広い年齢層の参加者を学習に呼び込む工夫など社会の各団体の活動を把握し、新規の団体の発掘に努める。	他部署との連携を進め、市民のニーズや社会情勢を踏まえた啓発行事の企画を行って、市内団体の活動を把握し、新規の団体の発掘に努める。	4	継続	維持	維持	4
		人権啓発事業	市民リーダー養成のための研修会や人権問題について体験学習講座等を開催する。また、豊かな人権作品の募集中であるほか、人権問題解決のための学習方法の調査及び研究実践を行う。	9,390,426	8,294,021	17,684,447	4	4	4	4	教職員、行政職員に対する人権研修会や人権啓発等が尊重されている。また、子どもへの影響が大きく、継続して人権意識の高揚に努める必要がある。	総合計画指揮人権が尊重される市に認める市民が増えるよう学校園や社会において人権意識を高めるリーダーの育成を継続する。	4	継続	維持	維持	4
		人権教育推進室	人権啓発活動を推進する														

みんなが安心して暮らせるまち

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	人件費	事業費	支出合計	妥当性	効率性	進捗状況	事後評価	改善内容	事業類型	方向性	成績	コスト	優先度
生きがいづくりを推進する	生涯学習課 高齢者教育事業	金ヶ崎学園大学の開設	2,339,426	1,281,745	3,621,171	4	4	3	4	学習を通じて地域のリーダーとして活躍いただけるような意識付けをする。	新たに歴史コースを開設し、ニーズの幅を広げる。	4	継続	維持	維持	3

まちづくり目標推進のために

取り組み事項	担当課名	事務事業名	事業内容	人件費	事業費	支出合計	妥当性	効率性	進捗状況	事後評価	改善内容	事業類型	方向性	成績	コスト	優先度
教育管理課	教育委員会事業	教育委員会委員に係る報酬及び事務経費	3,283,446	3,159,683	6,443,129	—	5	5	4	開かれた教育行政を引き続き維持する必要がある。	教育委員会議の内容の木「Jページ公開や教育委員会による発行など情報発信にいたり、引き続き当市教育行政を市民等への周知に努める。	1	継続	維持	維持	3
教育管理課	教育委員会事務局事業	教育委員会事務局運営に係る管理事務経費	3,272,006	2,507,170	5,779,176	—	5	5	4	開かれた教育委員会を目指すため、更なる情報発信に努める必要がある。	教育委員会だよりや子育て支援リーフレットを作成し、全戸配布するなど引き続き市民への周知をする。	1	継続	維持	維持	3
その他	教育統計調査事業	小学校、中学校、高等学校、幼稚園、保育園及び各種学級の教員、児童及び生徒の数並びに学年別数について検査し、報告する。	681,110	25,000	706,110	—	4	4	4	指定期間内に正確な数値入力作業を実施する。	基準日における正確な数値入力を徹底させる。	1	継続	維持	維持	3
学校教育課	学校教育課一般事務経費	小・中学校児童・生徒の通知票、表彰状の印刷、教諭の研究会・研修会の実施及び参加	1,189,926	1,423,919	2,613,845	—	3	3	3	必要部数等を精査する。	必要部数等を精査する。	3	継続	維持	縮小	3

※網掛事業については、第三者評価対象事業

## 4 第三者評価対象事業

### (1) 評価対象事業 結果比較

事務事業名	担当課	行政改革 推進委員会	第三者 評価委員会
創意ある学校園づくり推進事業	継続	継続	継続
資料館管理事業	継続	継続	継続

### (2) 第三者評価ヒアリング個別シート

事務事業名	創意ある学校園づくり推進事業			
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止			
<b>【評価理由】</b> <p>成果を測るために中長期的な視点がいることと、各学校園の自主性や独自性による特色ある事業への期待から継続とする。</p> <p>今後は、各学校園の特色や課題、事業効果等について評価シートや資料として「見える化」をすることで、効果的に示し、効果検証を丁寧に積み上げていただきたい。</p>				
<b>《指摘事項》</b> <ul style="list-style-type: none"><li>○課題や効果等を一覧表にするなど、事業の有効性を示す効果的な手法を検討すること。</li><li>○年度によって学校園や学年を限定するなど、メリハリのある取組みを検討すること。</li><li>○各学校園の事業計画において児童・生徒に意見を聞くなど、参画を進めること。</li></ul>				

事務事業名	資料館管理事業
評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止

**【評価理由】**

相生市の歴史的郷土資料を収集・保存し、市内外の人に発信することは重要な事業であるため、継続とする。

ただし、今後の資料館の運営にあたっては、資料の展示といった内部の整備だけでなく、積極的なPRや人を呼び込む仕掛けづくりなど抜本的な見直しを行わなければならない。

『指摘事項』

- 近隣他市町との比較、入館者へのアンケート調査、年齢分析及び開館時間の見直しを行うこと。
- 事業の意図、目的、今後の方向性といった内容を、積極的・具体的に評価シートに示すこと。
- 白龍城への観光客を呼び込むなど、入館者の増加に向けた取組みを検討すること。
- 魅力のある資料館とするため、入館者に対しきめ細やかに対応すること。